

知って安心

# あなたのくすりと健康

聞いて安心

第97号

- 薬物乱用について知ろう…賛助会員 久保田 貴子
- バイオ医薬品とバイオシミラー（バイオ後続品）…大和市立病院 薬剤科 三田 恭平
- 潰瘍性大腸炎治療薬 ひろがる選択肢（注射薬について）～在宅自己注射保険適応拡大～  
…社会医療法人財団互恵会大船中央病院 薬剤部 石井 弘幸

ちょっとした工夫で、こどもはお薬を上手に飲むことができます！  
苦手意識を持たずに自信を持って飲ませてあげましょう！

**乳児（生後～満1才未満）**

（使う道具）スポイト、小さな容器（薬杯）、スプーン等

（方法）①粉薬に少量の水を加えペースト状にし、口の中に塗り、飲み物を飲ませる方法  
②粉薬に少量の水を加えシロップ状にし、スプーンやスポイト、哺乳瓶の乳首を使って飲ませる方法

**幼児・小児（1才～）**

いろいろな方法が可能になります。個々に、得意な方法を見つけてみましょう

（よく使われる道具）スポイト、コップ、ストロー等

（方法）①溶かしたお薬をスポイトや小皿、コップで飲む  
②粉のまま口に入れてお水で飲む

（ひと工夫）①ストローがすぎな子にはストローをコップにさしてあげましょう  
②錠剤を飲めるようになる年齢は7才前後  
本人と話し合いながら、チャレンジしてみましょう

**注意したいこと**

♡本当のことを伝えましょう  
「苦いお薬だけど、元気になるお薬だから、がんばって飲もうね」

♡混ぜる時には注意！  
食品や薬同士、混ぜて大丈夫か薬剤師に確認しましょう

♡飲めたら最大に褒めましょう

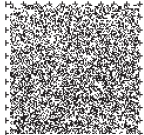
公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

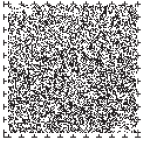


<表紙写真>くすり Get the Answers かながわ 推進委員会 パネル X ～こどものお薬の上手な飲ませ方編～

お薬の使い方を紹介したパネルです。「くすりの飲み方編」の子供版を作成いたしました。お薬に関する正しい知識の普及のため、続編を作成して参りますのでよろしくお願いたします。

私たちは、一般市民に対して医薬品や健康に関する正しい知識の普及と啓発を目的として小冊子を発行しています。小冊子には、音声コードが印刷されています。音声読みあげアプリ「Uni-Voice」と活字文書読みあげ装置の両方で使用できますので、ご活用いただければ幸いです。





## 薬物乱用について知ろう

薬物乱用とは、麻薬や覚醒剤といった違法な薬物を使用することですが、この他、鎮痛薬などの医薬品を本来の目的や正しい使用方法から外れて使用することも乱用です。これらは1回だけでも乱用になります。

乱用される危険のある主な違法薬物には、覚醒剤、大麻（マリファナ）、あへん系麻薬（ヘロインなど）、コカイン、MDMA、危険ドラッグ、LSD、マジックマッシュルーム、有機溶剤などがあります。

警察白書によると、平成30年中の薬物事犯検挙人員は13,862人で、覚醒剤事犯9,868人(71.2%)、大麻事犯3,578人(25.8%)の順でした。覚醒剤事犯は、その半数を暴力団構成員等が占め、再犯者も他の薬物事犯よりも多いのが特徴です。大麻事犯は、初犯者や20歳代以下が多く、暴力団構成員等の検挙人員はその2割程度と、こちらも反社会的勢力の関与がうかがわれます。

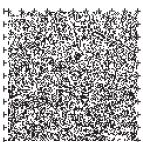
薬物の乱用が問題視されるのは、脳への影響と社会への被害があるからです。薬物を乱用すると、脳（中枢神経系）が破壊されていきます。脳の報酬系（快楽中枢）を強く刺激するため簡単に快感が得られる薬物が無ければ楽しめなくなっていきます。そして、繰り返して使用するうちに、量や回数を増やさないと同じ効果が得られなくなる「耐性」により無意識に摂取量が増えていきます。また、脳内の神経系には元に戻せない変化が進み、自分の意志ではやめたくてもコントロールできなくなる「依存」に陥るのです。薬物の怖さは、薬物を求める脳の回路が元に戻らないため完治することはなく、再乱用の可能性が生涯続くことにあります。

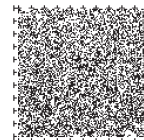
薬物の乱用は、本人だけの問題ではなく、その家族や友人にも影響が及びます。生活習慣や人格が変わり、薬物の入手が最優先となるため、関係が壊れていきます。薬物入手のための金銭が必要となり、犯罪を起こしたり、幻覚や脳の運動機能の異常などから事件や事故を起こしたりすることがあります。

「あの一度がなかったら」と乱用者は言います。「捕まらなければ自分ではやめられなかった」とも。

薬物の誘いは、断りきれない人間関係やストレス等、身近なところから忍び寄ってきます。「ダメ。ゼッタイ。」とはっきりと断る勇氣、一人で悩まず相談することが大切です。自分の生涯と大切な人達を守るため、薬物乱用について知り、未然に防ぎましょう。

神奈川県病院薬剤師会 賛助会員 久保田 貴子





## バイオ医薬品とバイオシミラー（バイオ後続品）

科学技術の発展に伴う医薬品開発の進歩は著しく、特にバイオテクノロジーを応用した薬（バイオ医薬品）の登場により、さまざまな病気の治療法が飛躍的に進歩しました。このバイオ医薬品は、2018年時点で世界の医薬品売上高上位20品目のうち11品目を占めるほど重要な役割を担っています。一方で、バイオ医薬品の開発や製造には大きなコストがかかるため医療費が高額となり、その結果、患者さんや社会全体の経済的負担が大きくなることが問題となっています。

新薬（先行医薬品）の特許が切れてから別の会社で製造される医薬品を後発医薬品と言います。この後発医薬品のうち、「ジェネリック医薬品（後発医薬品）」は現在広く普及しつつありますが、これとは区別してバイオ医薬品と同じ有効性と安全性を持った後発医薬品のことを「バイオシミラー（バイオ後続品）」と呼んでいます。近年、バイオ医薬品の多くが特許切れを迎え、多数のバイオシミラーが登場しています。

バイオ医薬品の有効成分は構造が複雑であるため、先行医薬品と全く同じ成分を製造することは困難です。そのため、**バイオシミラーは臨床試験を行うことで、有効性と安全性が先行医薬品と同等であることが証明されています。**

	ジェネリック医薬品(後発医薬品)	バイオシミラー(バイオ後続品)
定義	先発医薬品と有効成分、投与経路、用法・用量、効能・効果が同一の医薬品	先行バイオ医薬品と同等/同質の品質、有効性及び安全性を有する医薬品
特性	低分子化合物	高分子化合物
製造	化学合成により製造	バイオテクノロジーを用いた製法

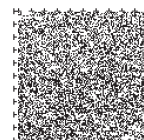
厚生労働省の2019年推計ではバイオシミラーの使用による医療費の削減効果は年間146億円とされ、厚生労働省は後発薬の普及を推進しています。例えば、悪性リンパ腫で用いる薬剤「リツキサン」を後発薬「リツキシマブBS」に切り替えることで1回にかかる薬剤費約46万円のうち約6万円が削減され患者さんの負担額が軽減されることもあります。バイオシミラーは患者さんの負担軽減だけでなく、国民医療費の削減にも貢献することが期待されています。

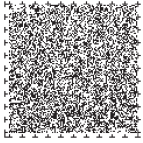
※なお、患者さん個々の自己負担費用は高額療養費制度等の関係で個々に異なる場合がありますので、各医療施設の医師や薬剤師又は医事スタッフにお問い合わせ下さい

### 日本で使用されている主なバイオシミラー

主な治療領域	先行バイオ医薬品	バイオシミラー
糖尿病	ランタス	インスリングラルギンBS
腎性貧血	エスポー	エポエチンアルファBS
関節リウマチ	レミケード	インフリキシマブBS
がん	リツキサン	リツキシマブBS
がん	アバスチン	ペバシズマブBS
がん	ハーセフチン	トラスツズマブBS

大和市立病院 薬剤科 三田 恭平





## 潰瘍性大腸炎治療薬 ひろがる選択肢（注射薬について） ～在宅自己注射保険適応拡大～

潰瘍性大腸炎とは、大腸に炎症が発症し、ただれ（びらん）や潰瘍ができる疾患です。主な症状は腹痛、頻回の下痢、血便等であり、急性症状と落ち着いた症状を繰り返します。血便が継続すると貧血や栄養不足による体重減少、さらには重症化すると手術が必要になり、中にはがん化するケースも報告されています。30歳以下の若年者に好発する疾患ですが、近年では小児や50歳以上にもみられ幅広い年齢層での発症や患者数の増加が確認されています。はっきりした原因が不明であり一度発症すると完治することが難しいといわれています。しかし、症状が良くなった状態を長く維持することが可能であり（寛解維持）、この状態をいかに長く保つかが大事なポイントです。潰瘍性大腸炎は発症の部位にもよりますが、軽症のうちは経口薬や坐薬、注腸薬で治療します。しかし、症状が中等症や重症など悪化の傾向が見られた場合、注射薬で治療します。

2020年4月、今まで通院が必要だった抗TNF $\alpha$ 抗体製剤“ゴリムマブ”（商品名シンボニー<sup>®</sup> 皮下注）が保険適応拡大として在宅自己注射が可能になりました。抗TNF $\alpha$ 抗体製剤とは、炎症に関与する生体内物質（サイトカイン：免疫系細胞から分泌されるタンパク質）の一種TNF $\alpha$ の働きを抑える注射薬です。“ゴリムマブ”は、潰瘍性大腸炎治療薬として重要な位置付けにある抗TNF $\alpha$ 抗体製剤として2製剤目の在宅自己注射可能な製剤です。在宅自己注射が可能になったことで下記の点で患者さんにメリットがあると思われます。

- 通院回数を減らすことができる
- 付き添いの方との時間調整等の手間が軽減することができる
- 病院での滞在時間を短縮することができる

潰瘍性大腸炎は、先に記したように若年層からの発症が多く治療期間が長期に渡ります。患者さんは治療や生活面、将来や治療費の事など多くの不安を抱えていると思われます。少しでも患者さんの不安を取り除きライフスタイルに適した薬物治療が行われるように私たち病院薬剤師は患者さんの声に耳を傾けていきたいと思っておりますので、お悩みのある場合は医療スタッフまでご相談下さい。

### 潰瘍性大腸炎に適応のある注射薬

分類	薬剤名	主な商品名	投与方法	備考
抗TNF $\alpha$ 抗体製剤	インフリキシマブ	レミケード	点滴静注	BS <sup>*1</sup> あり 60分以上で 点滴可
	アダリムマブ	ヒュミラ	皮下注	自己注可
	ゴリムマブ	シンボニー	皮下注	自己注可
抗IL12/23 p40 抗体製剤	ウステキヌマブ	ステラーラ	点滴→皮下	自己注不可
抗 $\alpha 4\beta 7$ インテグリン抗体製剤	ベドリズマブ	エンタイビオ	点滴静注	30分以上で 点滴

※1 BS：バイオシミラー（後続品）

社会医療法人財団互惠会大船中央病院薬剤部 石井 弘幸

《編集後記》活躍する薬剤師を紹介しています。今後も様々な事業を企画してまいります。

《発行》公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会 GTA 委員会

〒235-0007 横浜市磯子区西町14-11 神奈川県総合薬事保健センター 4階

ホームページ <https://www.kshp.jp/>

